

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-229441
(P2001-229441A)

(43) 公開日 平成13年8月24日 (2001.8.24)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G 0 7 F 9/00		G 0 7 F 9/00	Z 3 E 0 4 4
9/10		9/10	Z

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2000-36532(P2000-36532)

(22) 出願日 平成12年2月15日 (2000.2.15)

(71) 出願人 597052156

コンスコア株式会社

東京都豊島区南池袋二丁目23番5号

(72) 発明者 渡邊 孝男

東京都板橋区赤塚七丁目二十六番三十五号

(74) 代理人 100076129

弁理士 松山 圭佑 (外2名)

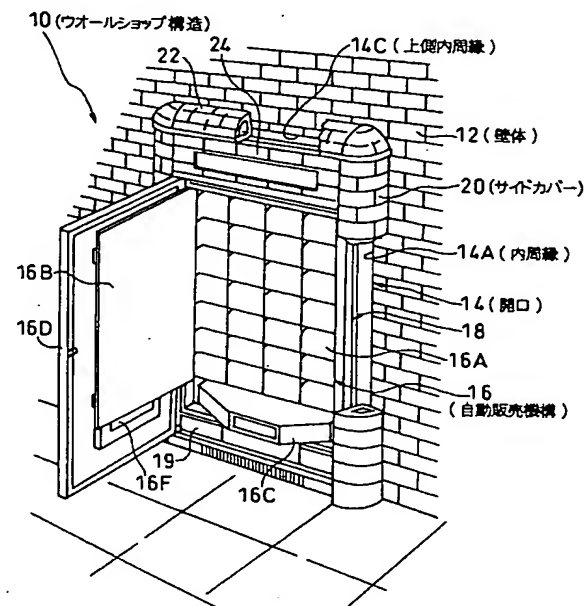
Fターム(参考) 3E044 AA01 AA07 AA20 FB01 FB02
FB03

(54) 【発明の名称】 ウォールショップ構造

(57) 【要約】

【課題】 自動販売構造を組み込んだ販売ボックスからなるウォールショップ構造において、耐震性、セキュリティ、外観を向上させる。

【解決手段】 ウォールショップ構造10は、壁体12の開口14にその一部又は全部を挿入して前面を開放して取り付けられていて、自動販売機16を内蔵する販売ボックス18と開口14との隙間は、サイドカバー20及びトップカバー22によって覆われ、これらサイドカバー20とトップカバー22、及び販売ボックス18の前面パネル16Dは、壁体12と同一の意匠が施され外観が統一されている。



16D・・・前面パネル
18・・・販売ボックス
22・・・トップカバー

【特許請求の範囲】

【請求項1】自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、建物外周の壁体に形成された開口から、少なくとも一部を挿入して、且つ、その前面を露出して前記壁体に取り付け、該販売ボックスの前面外周と前記壁体との間の隙間をサイドカバー及びトップカバーにより覆うと共に前記自動販売構造の前面の少なくとも一部を前記壁体と同一外観の材料から構成したことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項2】請求項1において、前記開口の左右の内周縁に沿う縦方向シール板及びこれら左右の縦方向シール板の上端を連結すると共に、前記開口の上側内周縁に沿う横方向シール板を、前記壁体に一体的に取り付けて該開口の内周縁を補強すると共に、少なくとも前記横方向シール板に、前記販売ボックスを固定してなり、前記サイドカバーは前記縦方向シール板に、前記トップカバーは前記横方向シール板に、それぞれ固定されたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項3】請求項2において、前記トップカバー及び横方向シール板の一方に、上向きに凸のアーチ形状の補強部材を取り付けたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項4】請求項2又は3において、前記縦方向シール板及び横方向シール板は、前記開口の内周縁に外側から接触して配置され、これら縦及び横方向シール板に対向して壁体の裏側に配置されたクランプ部材と共に該壁体を挟み込むことにより該壁体に取り付けたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項5】自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、建物外周の壁体の外側面に沿って該壁体と一体的に設けると共に、前記販売ボックスの天板を覆い、且つ、後端が前記壁体に至るトップカバーと、前記販売ボックスの幅方向少なくとも一方の側面を覆うと共に、後端が前記壁体に至るサイドカバーとを設け、前記自動販売構造の前面の少なくとも一部を、その外観が、前記壁体の表面と同一となる材料から構成したことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項6】建物内の壁体に形成された開口に、自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、その前面を露出して、且つ、前記壁体に少なくとも一部を挿入して取り付けたと共に、該販売ボックスの左右外周と前記壁体との間の隙間を、略鉛直方向のサイドカバーにより覆うとともに販売ボックスの上面前端と建物の天井との間を、略鉛直方向のトップパネルにより覆ってなり前記自動販売構造の前面の少なくとも一部を、その外観が、前記壁体の表面と同一となる材料から構成したことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項7】自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、建物内の壁体の壁面に沿って該壁体と一体的に設け、且つ、前記販売ボックスの上面前端と建物の天井と

の間を覆うトップカバーと、前記販売ボックスの幅方向少なくとも一方の側面を覆うと共に、後端が前記壁体に至るサイドカバーとを設けたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項8】請求項6又は7において、前記トップカバーが換気口パネルとされたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項9】請求項1乃至8のいずれかにおいて、前記トップカバーとサイドカバーの少なくとも一方を、その外観が、前記壁体の表面と同一となる材料から構成したことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項10】請求項1乃至9のいずれかにおいて、前記サイドカバー内にトラッシュボックスを設けたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項11】請求項1乃至10のいずれかにおいて、前記販売ボックスは、前記壁体の凸形角部の両側に少なくとも一基ずつ設けられ、これらの販売ボックスの、前記凸形角部を間にして隣接する側端面の間を、水平断面が1/4円弧形状のコーナカバーにより覆ったことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項12】請求項11において、前記コーナカバー内にトラッシュボックスを設けたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項13】請求項1乃至12のいずれかにおいて、前記壁体には出入口があり、前記販売ボックスは、前記出入口を間に、離間して配置された少なくとも2基設けられ、前記トップカバーは、前記販売ボックス間に連続して、且つ、前記出入口の上部を覆って設けられたことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項14】請求項13において、前記出入口の左右少なくとも一方に隣接して有人販売ボックスを配置したことを特徴とするウォールショップ構造。

【請求項15】請求項1乃至14のいずれかにおいて、前記自動販売構造を組み込んだ販売ボックスは複数基設けられ、その一部の前面には、商品見本展示窓、商品取出口、金銭取扱部が設けられ、これらを除く他の販売ボックスの前面には、前記壁体と同一外観のパネルにより覆ったことを特徴とするウォールショップ構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、建物の壁体に取り付けられる自動販売構造を組み込んだ複数の販売ボックスを有してなるウォールショップ構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の、主として複数の自動販売機を用いた無人販売形態としては、屋内の一定のスペースに複数の自動販売機を並列配置したもの、あるいは道路沿いの軒下に多数の自動販売機を並べたもの等がある。

【0003】又、対面販売用のブース（店舗）は、建物の一部に窓口を設けたもの、あるいはイベント会場等の

臨時店舗はプレハブ型が多い。

【0004】いずれの場合も、個々の自動販売機及び対面販売ブースは独立して設置されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記のような無人販売システム及び対面販売用のブースは、各々独立して設けられているため、耐震性、セキュリティを個々に考慮しなければならない、又、屋外設置には不適當であり、更に、屋外及び屋内いずれの場合でも、外観がバラバラで、景観を損なうのみならず、消費者の購買意欲を減退

【0006】又、従来の自動販売機は、それが設置される建物等とは全く異なる外観、構造であり、これを、屋外及び屋内のいずれの場合でも、周囲の外観と同調させることは非常に困難であった。

【0007】更に又、多くの自動販売機は、道路等への突出量が大きく、通行の邪魔になったりするという問題点があった。

【0008】この発明は、上記従来の問題点に鑑みてなされたものであって、自動販売構造を販売ボックスに組

【0009】

【課題を解決するための手段】この発明は、自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、建物外周の壁体に形成された開口から、少なくとも一部を挿入して、且つ、その前面を露出して前記壁体に取り付け、該販売ボックスの前面外周と前記壁体との間の隙間をサイドカバー及び

【0010】更に、前記ウォールショップ構造において、前記開口の左右の内周縁に沿う縦方向シール板及びこれら左右の縦方向シール板の上端を連結すると共に、前記開口の上側内周縁に沿う横方向シール板を、前記壁体に一体的に取り付けて該開口の内周縁を補強すると共に、少なくとも前記横方向シール板に、前記販売ボックスを固定してなり、前記サイドカバーは前記縦方向シール板に、前記トップカバーは前記横方向シール板に、それぞれ固定されるようにしてもよい。

【0011】又、前記トップカバー及び横方向シール板の一方に、上向きに凸のアーチ形状の補強部材を取り付けてもよい。

【0012】又、前記縦方向シール板及び横方向シール板は、前記開口の内周縁に外側から接触して配置され、これら縦及び横方向シール板に対向して壁体の裏側に配置されたクランプ部材と共に該壁体を挟み込むことにより該壁体に取り付けるようにしてもよい。

【0013】又、本発明は、自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、建物外周の壁体の外側面に沿って該壁体と一体的に設けると共に、前記販売ボックスの天板を覆い、且つ、後端が前記壁体に至るトップカバーと、前記販売ボックスの幅方向少なくとも一方の側面を覆うと共に、後端が前記壁体に至るサイドカバーとを設け、前記自動販売構造の前面の少なくとも一部を、その外観が、前記壁体の表面と同一となる材料から構成したことを特徴とするウォールショップ構造により、上記目的を達成するものである。

【0014】更に、本発明は、建物内の壁体に形成された開口に、自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、その前面を露出して、且つ、前記壁体に少なくとも一部を挿入して取り付けると共に、該販売ボックスの左右外周と前記壁体との間の隙間を、略鉛直方向のサイドカバーにより覆うとともに販売ボックスの上面前端と建物の天井との間を、略鉛直方向のトップパネルにより覆ってなり前記自動販売構造の前面の少なくとも一部を、その外観が、前記壁体の表面と同一となる材料から構成したことを特徴とするウォールショップ構造により、上記目的を達成するものである。

【0015】更に又、本発明は、自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを、建物内の壁体の壁面に沿って該壁体と一体的に設け、且つ、前記販売ボックスの上面前端と建物の天井との間を覆うトップカバーと、前記販売ボックスの幅方向少なくとも一方の側面を覆うと共に、後端が前記壁体に至るサイドカバーとを設けたことを特徴とするウォールショップ構造により、上記目的を達成するものである。

【0016】又、前記ウォールショップ構造において、前記トップカバーを換気口パネルとしてもよい。

【0017】更に、前記トップカバーとサイドカバーの少なくとも一方を、その外観が、前記壁体の表面と同一となる材料から構成してもよい。

【0018】更に又、前記サイドカバー内にトラッシュボックスを設けるようにしてもよい。

【0019】又、前記ウォールショップ構造において、前記販売ボックスを、前記壁体の凸形角部の両側に少なくとも一基ずつ設けられ、これらの販売ボックスの、前記凸形角部を間にして隣接する側端面の間を、水平断面が1/4円弧形状のコーナカバーにより覆うようにしてもよい。

【0020】又、前記コーナカバー内にトラッシュボックスを設けるようにしてもよい。

【0021】更に、前記ウォールショップ構造において、前記壁体には出入口があり、前記販売ボックスは、前記出入口を間に、離間して配置された少なくとも2基設けられ、前記トップカバーは、前記販売ボックス間に連続して、且つ、前記出入口の上部を覆って設けるようにしてもよい。

【0022】更に又、前記出入口の左右少なくとも一方に隣接して有人販売ボックスを配置してもよい。

【0023】更に又、前記ウォールショップ構造において、前記自動販売構造を組込んだ販売ボックスは複数基設けられ、その一部の前面には、商品見本展示窓、商品取出口、金銭取扱部が設けられ、これらを除く他の販売ボックスの前面を、前記壁体と同一外観のパネルにより覆うようにしてもよい。

【0024】この発明においては、自動販売構造を組込んだ販売ボックスは、建物の壁体に形成された開口に、必要に応じて挿入して固定し、あるいは、販売ボックスを壁体の外側壁面に沿って固定して設け、且つ、販売ボックスの周囲と壁体との間の隙間をサイドカバー及びトップカバーにより覆っているもので、耐震性、セキュリティの向上を図ることができると共に、販売ボックスの壁面からの突出量を最適に設定でき、且つ、販売ボックス前面の少なくとも一部を壁体と同一外観として周囲との外観を統一させることができる。

【0025】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施の形態の第1例を図面を参照して詳細に説明する。

【0026】図1及び図2に示されるように、この発明の実施の形態の第1例に係るウォールショップ構造10は、建物（全体図示省略）の壁体12に形成された開口14に、自動販売構造16を組込んだ販売ボックス18を、その前面を露出して、且つ、前記壁体12に必要に応じて挿入して（図2参照）取り付けると共に、該販売ボックス18の前面外周と前記壁体12との間の隙間をサイドカバー20及びトップカバー22により覆ったものである。

【0027】前記サイドカバー20は、水平断面において前端側が肉薄となる円弧形状とされ、トップカバー22も、鉛直断面において前端側が肉薄となる円弧形状の部材から構成されている。又、これらサイドカバー20及びトップカバー22は、共に、木材、石膏ボード、発泡樹脂、板金等の中空部材とされている。なお、中実であってもよい。

【0028】前記販売ボックス18は、図3に示されるように、底板19を備えた箱型のフレーム構造であり、底板19上に、前記自動販売構造16が取付載置されている。

【0029】前記自動販売構造16は、図1に示されるように、商品収納棚16Aと、この商品収納棚16Aの前面を覆う開閉自在の断熱扉16Bと、を備え、その下端前面に設けられたデリバリシュート16Cから収納された商品を投出できるようにされている。

【0030】更に、前記自動販売構造16は、前記販売ボックス18の前面側のフレームに、開閉自在に取り付けられた前面パネル16Dを備えている。この前面パネル16Dには、図3に示されるように、商品見本や商品

選択ボタン等を含む接客部16Eが設けられると共に、前記デリバリシュート16Cから投出された商品を取り出すための商品取出口16Fが設けられている。

【0031】前記自動販売構造16を取り付けた販売ボックス18は、図2に示されるように、その奥行き約3/4が前記壁体12の開口14内に挿入された状態で固定されている。

【0032】前記サイドカバー20は、図2に示されるように、断面が略1/4円形状の中空体であり、販売ボックス18側の側面は、該販売ボックス18の左右両側面と平行な状態で、前記販売ボックス18に取付固定され、又、サイドカバー20の左右両側端は、壁体12と平行なフランジ部21Aを有して、このフランジ部21Aと一体のコ字状部材21Bにより、開口14の左右両側端部を挟み込んでボルト21により締付け固定されることによって、該壁体12に固定され、これにより販売ボックス18は、サイドカバー20を介して壁体12に固定されることになる。

【0033】壁体12に固定された販売ボックス18の、壁体12の裏側部分は、図2に示されるように、カバーパネル22により覆われている。

【0034】前記自動販売構造16における前面パネル16Dの、接客部16E及び商品取出口16F以外の部分は、図3に示されるように、前記壁体12の外観と同一外観となる意匠、例えばレンガ模様が施されている。

【0035】なお、前面パネル16Dの上方には、販売ボックス18の前面上端部を覆って広告パネル24が取り付けられている。

【0036】前記サイドカバー20及びトップカバー22は、前記販売ボックス18の壁体12からの突出量、例えば図4において符号Dで示される突出量に応じて、その壁体12の厚さ方向の長さが、図5及び図6に示されるように、選択される。

【0037】ここで、図5の（A）～（C）は、いずれも図4の（A）～（C）に対応するものであり、水平断面における先端が円弧形状のサイドカバー20A、20B、20Cを示すものである。又、図5（D）～（F）に示されるサイドカバー20D、20E、20Fは、水平断面における先端が直角の角部とされた、図4の（A）～（C）に対応するものである。

【0038】又、トップカバーの外周端が円弧形状のものについては、図6（A）、（B）に示されるトップカバー22A、22B、先端が台形状のものについては、図6（C）、（D）に示されるトップカバー22C、22Dのように、前記Dに応じて奥行寸法の異なるものを使用する。

【0039】この実施の形態の例に係るウォールショップ構造10においては、自動販売構造16を取り付けた販売ボックス18を、壁体12の開口14から任意の深さに挿入して取り付け、且つ、その周囲を壁体12と同

一意匠のサイドカバー20(20A~20F)及びトップカバー22(22A~22D)で覆っているの、耐震性及びセキュリティを向上させることができると共に、販売ボックス18の突出量を最適として、周囲との外観を調和させ、消費者の購買意欲を適度に刺激することができる。

【0040】次に、図7に示される本発明の実施の形態の第2例に係るウォールショップ構造30について説明する。

【0041】このウォールショップ構造30は、壁体12の外側面に沿って、販売ボックス18A~18Dを配列して設けたものであり、且つ、2基の販売ボックス18A、18Bは壁体12の凸形角部13の両側に隣接した設けられ、これらの販売ボックス18A、18Bの隣接する側端面の間には、水平断面が1/4円弧形状のコーナカバー26により覆われている。

【0042】前記販売ボックス18Bの、18Aと反対側に隣接する販売ボックス18Cと、4番目の販売ボックス18Dとの間には、前記壁体12に形成された出入口28及びショーウィンドウ30が配置されている。

【0043】各販売ボックス18A~18Dの上端を覆うトップカバー32は、前記販売ボックス18Aから、出入口28及びショーウィンドウ30の上方を通して図7において右端の販売ボックス18Dの上面まで連続的に形成されている。従って、トップカバー32は、出入口28及びショーウィンドウ30の上方に突出する底を兼ねている。

【0044】前記コーナカバー26の内側空間には、トラッシュボックス34が設けられ、清涼飲料水の空き缶等がここに回収され得るようになっている。

【0045】この実施の形態の例に係るウォールショップ構造30では、壁体12の凸形角部13の外側に生じるデッドスペースを利用してトラッシュボックス34を配置しているの、周囲の外観を損なうことなく、空き缶等の回収をすることができる。又、トップカバー32が出入口28及びショーウィンドウ30の上方を覆って突出しているの、その底を兼ねて、周囲の外観を統一させた状態で、複数の自動販売構造を設けた販売ボックス18A~18Dを一体構造とすることができる。

【0046】なお、前記ウォールショップ構造において、出入口28に隣接して設けられたショーウィンドウ30に代えて、図8に示されるように有人販売ボックス56(詳細後述)を設けてもよい。これは店内で品定めする必要のない定番商品等を、短時間で販売する際に用いる。

【0047】次に、図9及び図10に示される本発明の実施の形態の第3例に係るウォールショップ構造40について説明する。このウォールショップ構造40は、建物内の壁体12の前で、且つ床42と天井44との間に配置したものである。

【0048】このウォールショップ構造40は、3基の販売ボックス18E、18F、18G、販売ボックス18Fと18Gの間に設けられたトラッシュボックス34A、サイドカバー20G、20H(図10参照)及びトップカバー22E~22G、22H、22Iを備えて構成されている。

【0049】前記トップカバー22E、22F、22Gは、販売ボックス18E~18Gの上端面の前端側と天井44との間を埋めるように取り付けられた換気口パネルから形成されている。又、トップカバー22Hはトラッシュボックス34Aの上方、及びトップカバー22Iはサイドカバー20G、20Hの上方で、天井44との間を埋めるように取り付けられている。

【0050】図10は、前記ウォールショップ構造40の各パーツを分解して示す分解斜視図である。図10において、前記図2及び図3に示されるウォールショップ構造10と同一又は相当部分には同一符号を付することにより説明を省略するものとする。なお、図9と比較して、外観意匠が異なって示されているとともに、前記販売ボックス18E及び18Fは省略されている。

【0051】又、このウォールショップ構造40においては、販売ボックス18Gの図において左側の側面がサイドパネル46A、背面がバックパネル46B、上端が天板46Cによりそれぞれ覆われている。又、図10において左側のサイドカバーに20Hの前側に、前記図7における同様の断面略1/4円弧形状のトラッシュボックス34が配置されている。

【0052】又、図10の符号48は、販売ボックス18Gに取り付けられた自動販売構造16の前面における左右両側辺及び上側辺を覆うようにして、販売ボックスのフレームに一体的に取り付けられた門型の防塵・防盜カバーを示す。

【0053】次に、図11に示される、本発明の実施の形態の第4例に係るウォールショップ構造50について説明する。

【0054】このウォールショップ構造50は、缶入りの清涼飲料水を販売するための自動販売構造52Aを備えた販売ボックス52と、スナック菓子等を販売するための自動販売構造54Aを備えた販売ボックス54と、煙草類等を対面販売するための有人販売ボックス56とを一体的に有してなり、図12に示されるように、壁体12の開口14からその前端部分を残して挿入して取付固定されたものである。

【0055】前記販売ボックス52は、前記販売ボックス18と同様の構成であり、同販売ボックス18における同一又は相当部分には、図1~図3における同一の符号を付することにより説明を省略するものとする。

【0056】又、前記販売ボックス54は、その接客部54Bが、前記販売ボックス52に対して商品見本及び商品見本に対応した商品選択スイッチの数が相違するの

みで、他の構成は同一である。

【0057】更に、前記有人販売ボックス56は、その背面に設けられた扉57から出入可能とされたものであり、接客窓口には接客テーブル56A、ショウウィンドウ56Bが設けられている。

【0058】更に、このウォールショップ構造50においては、各販売ボックス52、54及び有人販売ボックス56の前端上部に、幅方向に連続してトップカバーを兼ねる広告板58が設けられている。

【0059】次に、図13を参照して、上記のようなウォールショップ構造であって、壁体12の開口14に一部挿入して取り付ける場合の壁体の補強構造及び販売ボックスと壁体の連結構造60について説明する。

【0060】この連結構造60は、前記開口14の左右の内周縁14A、14Bに沿う左右の縦方向シール板62A、62B、及び、これら左右の縦方向シール板62A、62Bの上端を連結すると共に、前記開口14の上側内周縁14Cに沿う横方向シール板62Cを、図14に示されるように、ボルト・ナット63A、63Bにより、前記壁体12に一体的に取り付けて、開口14の内周縁を補強すると共に、横方向シール板62Cに、前記販売ボックス52、54及び有人販売ボックス56の上端を取付フランジ64を介してボルト63Cにより締付け固定している。

【0061】又、図15に示されるように、前記縦方向シール板62A、62Bは、ボルトナット63A、63Bにより壁体12に固定され、且つ、ボルト・ナット65A、65Bによりサイドカバー68をその外側に支持すると共に、L字状フランジ69を介して前記販売ボックス52及び有人販売ボックス56にボルト72によって締付け固定されている。符号73はL字状フランジ69を縦方向シール板62A、62Bに固定するボルトを示す。

【0062】更に、前記横方向シール板62Cには、図14に示されるように、ボルトナット74A、74Bにより上向きに凸のアーチ形状の補強部材76が取り付けられている。

【0063】この補強部材76は、その上向きに凸のアーチ形状により、開口14の上側内周縁14Cが垂れ下がろうとする時に、その荷重を水平方向に分散して、垂れ下がりやを抑制することができる。

【0064】

【発明の効果】本発明は上記のように構成したので、自動販売構造を組み込んだ販売ボックスを壁体に対して最適な突出量でこれと一体に取り付け、且つ外観を統一して、耐震性、セキュリティを向上させると共に、利用者の購買意欲を向上させることができるという優れた効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の第1例に係るウォールシ

ヨップ構造を示す斜視図

【図2】同断面図

【図3】同ウォールショップ構造における販売ボックスを示す分解斜視図

【図4】同ウォールショップ構造の販売ボックスと壁体との関係を示す略示側面図

【図5】同ウォールショップ構造におけるサイドカバーの各例を示す斜視図

10 【図6】同ウォールショップ構造におけるトップカバーの例を示す斜視図

【図7】本発明の実施の形態の第2例に係るウォールショップ構造を示す透視図

【図8】同第2例のウォールショップ構造の変形例の要部を示す透視図

【図9】同実施の形態の第3例に係るウォールショップ構造を示す透視図

【図10】同実施の形態の第3例に係るウォールショップ構造を示す分解斜視図

20 【図11】同実施の形態の第4例に係るウォールショップ構造を示す分解斜視図

【図12】同平断面図

【図13】本発明のウォールショップ構造における連結構造を示す分解斜視図

【図14】図13のXIV-XIV線相当部分の拡大断面図

【図15】図13のXV-XV線相当部分の拡大断面図

【符号の説明】

10、30、40、50…ウォールショップ構造

12…壁体

13…凸形角部

30 14…開口

14A、14B…内周縁

14C…上側内周縁

16、52A、54A…自動販売構造

16D…前面パネル

16E、54B…接客部

16F…商品取出口

18、18A、18B、18C、18D、18E、18F、18G、52、54…販売ボックス

40 20、20B、20C、20D、20E、20F、68…サイドカバー

22、22A、22B、22C、22D、22E、22F、22G、32、35…トップカバー

26…コーナカバー

28…出入口

34、34A…トラッシュボックス

42…床

44…天井

46C…天板

56…有人販売ボックス

50 60…連結構造

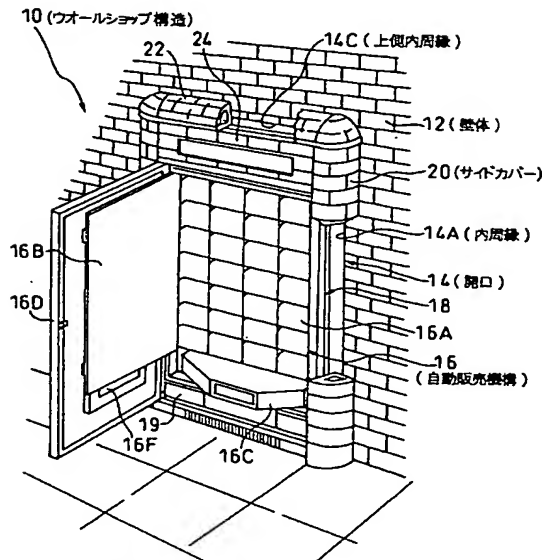
11

12

62A、62B…縦方向シール板
62C…横方向シール板

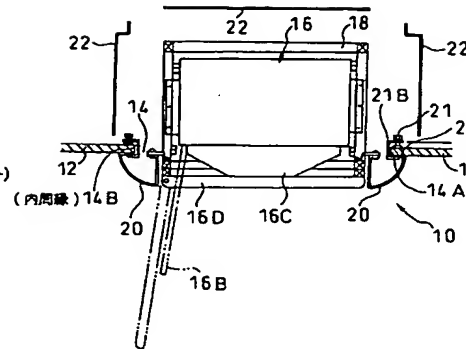
76…補強部材

【図1】

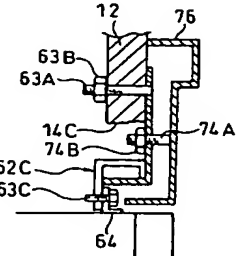


16D…前面パネル
18…販売ボックス
22…トップカバー

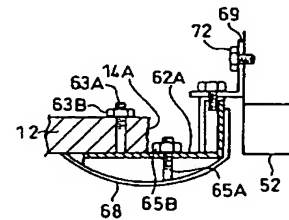
【図2】



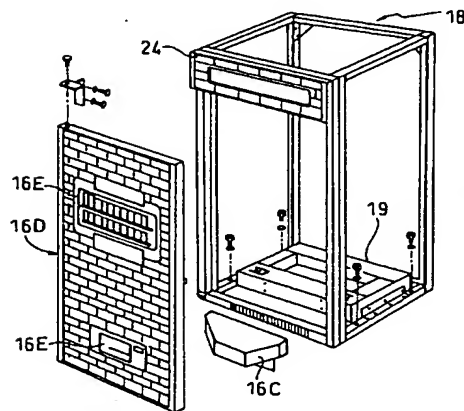
【図14】



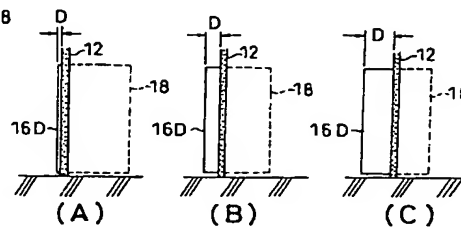
【図15】



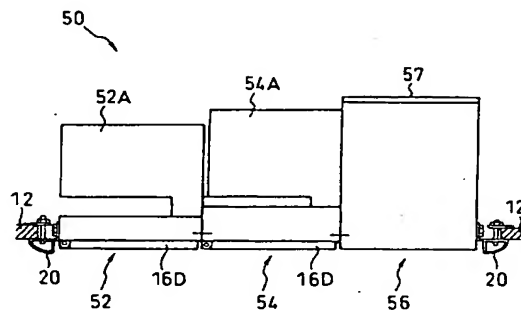
【図3】



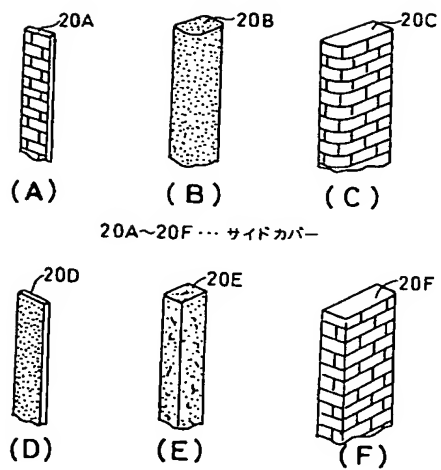
【図4】



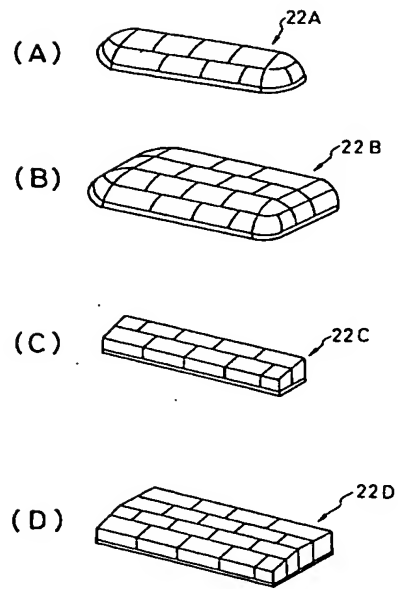
【図12】



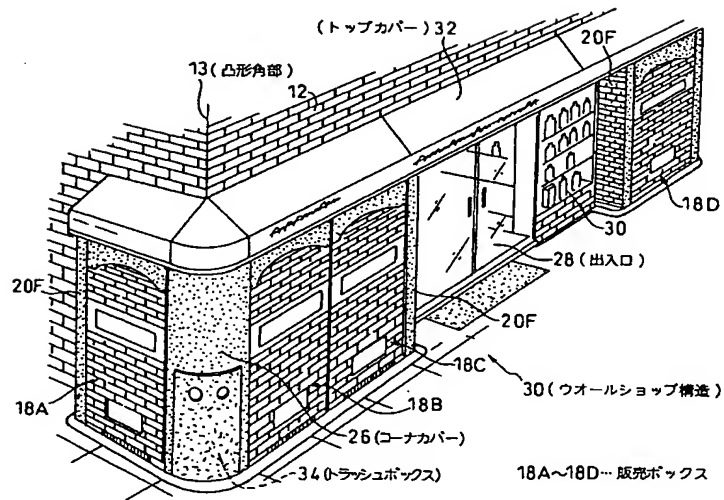
【図5】



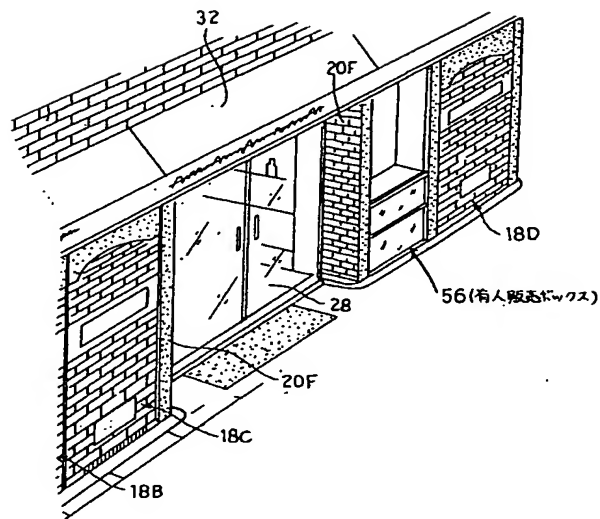
【図6】



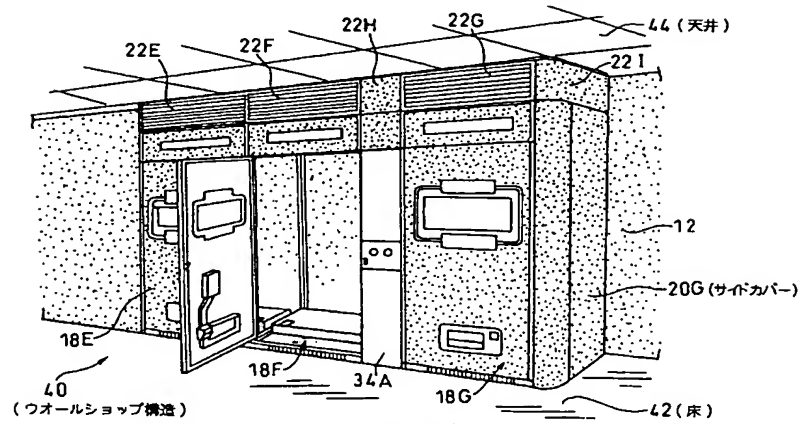
【図7】



【図8】

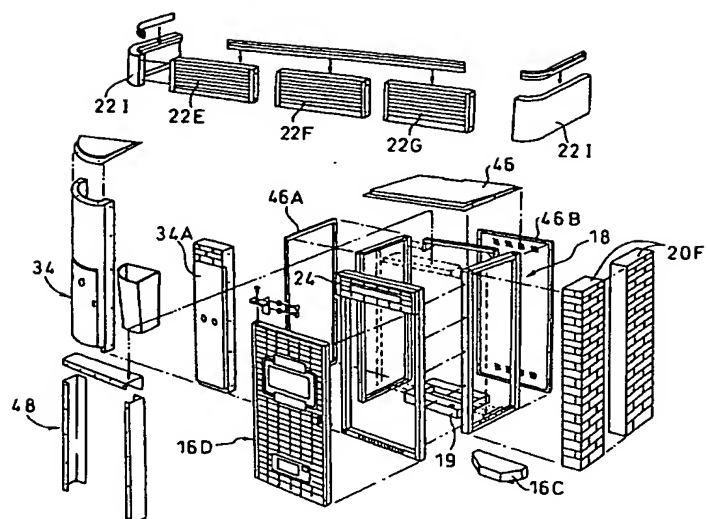


【図9】

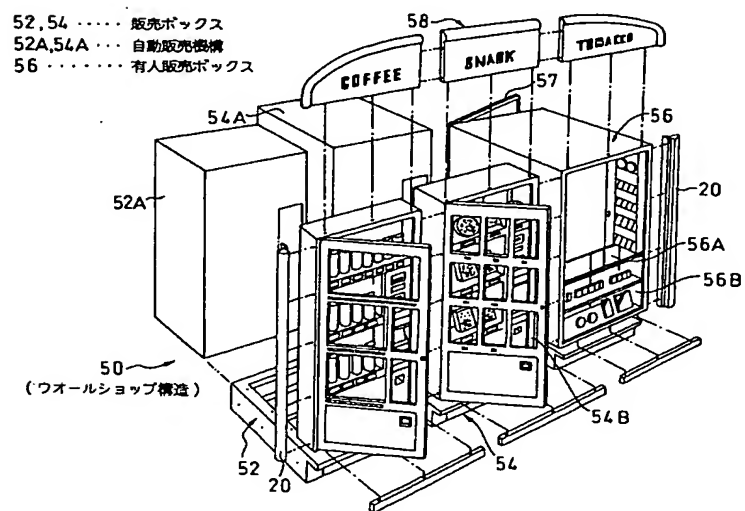


18E, 18F, 18G 販売ボックス
 22E, 22F, 22G, 22H, 22I トップカバー

【図10】



【図11】



【図13】

